
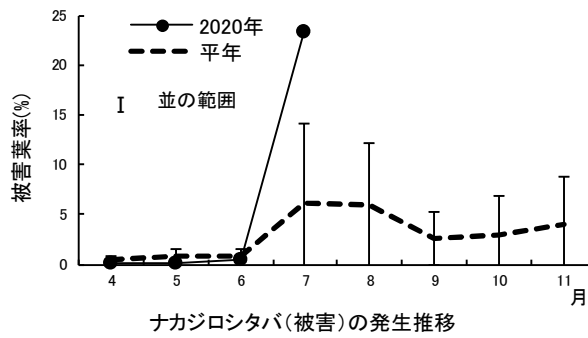
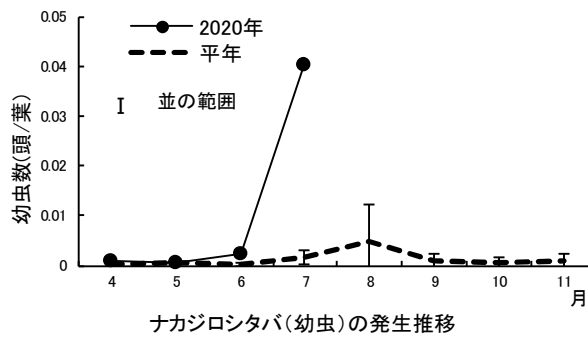


作物	カンショ	地域	沖縄群島
病害虫名	① ナカジロシタバ		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	多	
予報	7 月からの増減傾向	↗	
	8 月の発生量 (平年比)	多	


予報の根拠	平年の発生量の推移 (↗)
-------	---------------

調査結果



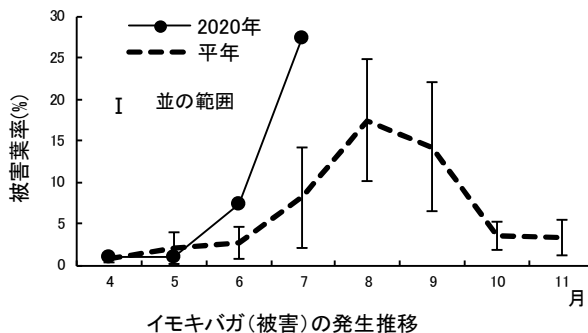
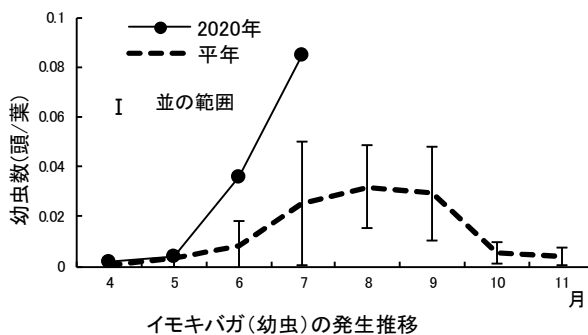
防除のポイント

- ・老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。

作物	カンショ	地域	沖縄群島
病害虫名	② イモキバガ		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	7 月からの増減傾向	↗	
	8 月の発生量 (平年比)	多	


予報の根拠
 平年の発生量の推移 (↗)
 今後 1 か月の気温が平年より高い見込み

調査結果

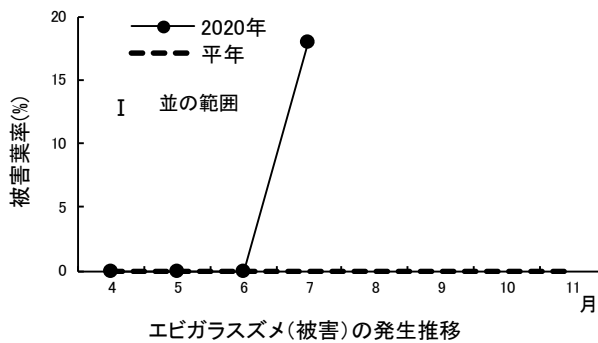
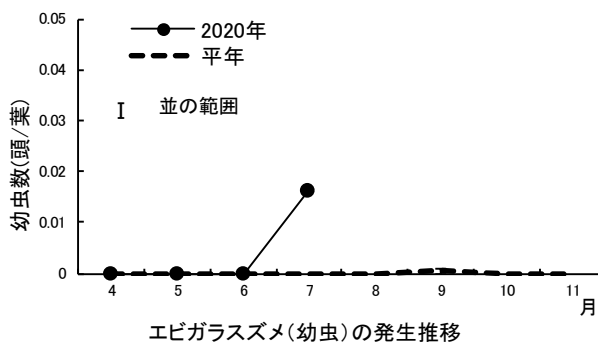


防除のポイント

- ・ 老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。
- ・ つづった葉の内部に潜んでおり、直接薬剤がかかりにくいいため浸透移行性のある薬剤を使用する。

作物	カンショ	地域	沖縄群島
病害虫名	エビガラスズメ		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	—	
予報	7 月からの増減傾向	—	
	8 月の発生量 (平年比)	—	
予報の根拠			

調査結果



防除のポイント

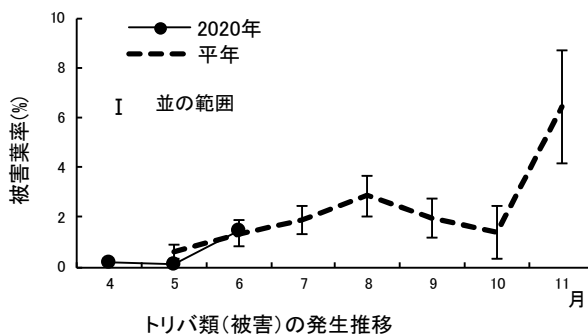
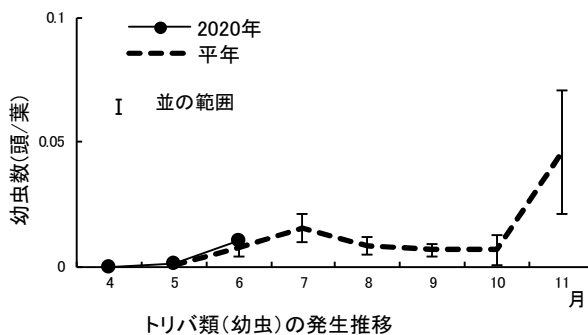
- ・ 若齢幼虫の早期発見に努め、薬剤防除を行う。

作物	カンショ	地域	沖縄群島
病害虫名	トリバ類		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	—	
予報	7 月からの増減傾向	—	
	8 月の発生量 (平年比)	—	



予報の根拠

調査結果



防除のポイント

発生初期の防除が有効であるので、被害葉が出はじめたら、薬剤散布する。